

会 議 録

会議名	第2回 宇都宮市環境基本計画ワーキングチーム会議				
開催日時	平成14年 1月29日(火) 午後7時00分～午後9時00分				
開催場所	宇都宮市役所 14D会議室				
出席者	ワーキングチームメンバー				
	小磯 順子		葛谷 理子		眞野 潤子
	大野 邦雄		森本 久子		仁平 隆史
	高沼 恭一	欠席	手塚 賢次	欠席	三宅 徹治
	平野 正人		斉藤 軍夫		児玉 博利
	林 常夫		江川 靖		村上 孝子
	事務局(福田宇都宮市環境課長, 他5名)				
公開・非公開	公開				
傍聴者	0名				
議 題	報告事項 本市の環境の現状について 協議事項 (1)計画で取り組むべき環境課題について (2)ワーキングチームの今後の検討内容等について				
発 言 者	内 容				
事務局	【 報告事項, 協議事項(1)について, 一括して説明 】				
三宅リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・最終的には, 資料4のP29～32にかけて, 環境基本計画で取り組む基本的な課題が整理されていますね。 ・その前のP27のA3版は, 今まで調べてきたものに漏れがないようにするチェックリスト的なマトリックスとなっていますね。 ・これから基本的な課題を論議するわけですが, 最終的には, 資料4のP29～32にかけて集約されており, つながりはこの説明にあったとおりということですね。 ・今日は盛りだくさんですが, 最終的にはご了承頂ければということですね。 				
児玉メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまでの内容を出されると, ワーキングチームは何をやったらいいのですか。ここは環境審議会ではないと思います。 				

発 言 者	内 容
児玉メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、廃棄物減量審議会の方にも出ているので、そこでは、ここまでの内容が出されるのですが・・・。 ・結局、事務局としては環境基本計画をこの方向でやりたい、というわけですね。それであれば環境審議会にあげればいい。これで、市民参加としてみんな考えました、とは言えないのではないかと。
三宅リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の時に、白いキャンバスから始めるというよりも、ある程度、事務局から示してもらって議論の出発点にしよう、ということだったんですね。
児玉メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ただし、主権はあるということで、ワーキングチームの場ではやりすぎだと考えます。
森本副リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・私も伺いながら本当にぱっちりまとめて下さっていて、私たちは何をすべきかなと思っていましたが、これはあくまでも関連的なまとめである、と受け取っています。 ・具体的に私たちが市民として、事業者としてこういうことを出してほしいというふうにおっしゃっているのかなと思っています。 ・私としては、施策やシステムづくり、例えば、具体的な問題に関して、市民はどうしたら動きやすいかとか、事業者であればここまでは可能である、というような、より具体的なこと、宇都宮市独自のものをやりたいと思っています。
森本副リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、温暖化やオゾン層の破壊に関して、宇都宮市としてどのような対策をとるのか。また、水を守っていきこう、と書いてありますが、市としてどういう風に水を守っていきこうと考えてゆくのか、という具体的なことを、どんどんああして欲しい、こうして欲しい、ということを書いていった方が面白いと思ったのですが如何でしょうか。事務局の方は大変でしょうけれども・・・。
大野メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、非常によくまとめて課題を整理して頂いた、というふうに思っています。ですから、これからいかに具体的に実施していくのかについて議論することに私どものワーキングチームの意義があると思います。 ・ここに書いてあるのは、切り口は幾つかあるんだと、それを例えば岡山市だったら岡山市の、川崎市だったら川崎市の、ということで独自に取り組んでいきますけれども、宇都宮市らしい施策について挙げていければと思います。 ・そこで幾つか提案がありますが、まず皆さんの意見をお伺いしたいと思います。
江川メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・私も、ここに書いてあることは間違いではないし、いいことだとは思っています。

<p>三宅リーダー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、教育や学校側から見るとすれば、環境教育の推進、というのは簡単ですが、具体性が全く見えないということで、この後、この場ではもっと具体的に、宇都宮ではこんなことをやっていくんだ、ということを市民に示していければと思います。 ・また、例えばですが、事業者側とか市民の生活の改善とか、さらに自然環境の保全なんかを3つぐらいに分けて、具体的にどのようにしたらよいかを提言していけたらと思います。 ・私自身の理解をいいますと、環境問題は非常に幅広いので、いろいろな問題をまず4つの大きな部屋にとりあえず入れてみたということなんだと思うんです。 ・どこの扉を開いて大事に論議をしていくのは、これからだと思っています。 ・ですから、これで最後まで決まっているのではなくて、いわば扉の看板をとりあえず書いてみました。その中で、私たちが2番目の部屋を論議しようかとか、1番目はいいよ、まかせておくよという世界があってもいいのかな、という感じがしています。 ・まだ、まさにこれから議論が始まるということだ、と私は理解しています。
<p>仁平メンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私もそのように思います。 ・前回の時、環境課題を出して欲しいとしつこく申し上げたのは、環境基本計画というのが、市民の皆様や議会、市の内部での調整をしていく時には、具体的な本当に大変だなというデータがあって、参加しなければならないという形のものが見えるようなことが必要だと思います。
<p>仁平メンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、廃棄物でいえば、可燃物が増えた減ったではなく、家庭から出る生ごみがどれくらいでどのように推移するか、このデータからみれば、宇都宮というのは一戸建てのお宅が多いということは、それだけ庭があるということですから、コンポストを普及させ、ごみの燃やす量を減らしていくというようなことが、次の行動計画の中に具体的に出てきます。 ・それが行動計画としてあげるレポートとなって改善が目に見えるようになる。そういうふうに繋がっていくことで、環境基準をクリアしましたということではなく、具体的な環境の抱えている行動が見えるような形の環境問題の捉え方が重要ではないかと思います。 ・大気や水や自然でも同じで、例えば、NOxやSOx等も、宇都宮本体が抱えている発生源のほかに、夏は京阪神の汚染気団が拡散しないかたまりで南風に乗って宇都宮や日光にぶつかってくる。逆に、冬は北西風によって中国大陸を含めたものが、こちらにもかかってくる、そういう繋がりがあると思います。
<p>仁平メンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境についても、これは水道部局に関連する話ですが、水環境は、ほぼ

	<p>充足している，そのために配慮しなくちゃならないというんですが，私たちにはブラックボックスです。蛇口をひねれば水は出るんであって，その水はどこからきたのか，鬼怒川のそばで地下水を採取しているのか，もしくは，今市のところで大谷川から分水した水なんだろうか，また，我々が使った後，浄化されて下流にいくと，下流の都市は，多分その川の水をダイレクトに使うんじゃないで，河川の周辺で過された形の井戸を掘ってまた使う，というように，水の循環や，上流から下流へといった繋がりで捉えることができると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然も，これだけ面積が増えた減ったという機能の他に，私は特に二次林にこだわりを持っていますが，こういうものがあることによって，ここでは，例えば気温が1～2度下がって夏でも涼しく，クーラーを使わなくても樹林という気候を緩和する外部の機能があることにより，我々の生活も節減できていく，もしくは，それが全体にヒートアイランドの中の風の通り道になり，大気の動きを生むことになります。 ・樹林という1つの大きなかたまりがあるよ，ということだけではなく，二次林があり，学校林があり，工場の周りや家の周りにもそれを繋ぐ緑がある，そうすることによって，チェーン状により良い機能を発揮していくということで，数値的なものの他に，このような構造とか機能というのをもっとわかりやすく整理して頂くと，そのために必要な問題意識が見えて，行動計画を起こすときの参加の動機づけに繋がっていくという形になるのではないかと思います。 ・特に，市民意識の中では，丁度今回解析されてない部分ですが，どこにこだわりを持っているのか，というのが宇都宮の特徴ということになると思います。そののところが非常に期待しています。
児玉メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・先程は，声を荒げてすみませんでした。今，色々な意見が出てますが，このような議論する時間があって，最終的に環境基本計画の部分に我々の話を，ある程度具体策として盛り込まれるのならば，全く問題はないのですが，先程の説明のような連続だと，という意味を言ったわけです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームは，これから次の協議の方へ移っていきますが，何回もやりながら，皆さんの色々な意見を聞いて計画策定に取り組んでいきたい，という基本的な考え方で立ち上げました。 ・前回，第1回会議を行いまして，メンバーの皆さんがどんなことを考えているのだろうということも含めまして，どのような考え方でやっていくのかということについて共通理解を頂いたわけです。 ・それを受けまして，今日は，宇都宮市の環境という面において，どういう課題があるのか，ということ，まず皆さんでこういうことなのかな，という部分をご理解を頂き，また，こういう課題もあるのではないかと，ということがあればご意見を頂きたい，ということでもあります。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ですから，これがそのままそっくり計画になっていく，ということではなく，

	<p>あくまで、これは課題を抽出しました、それを体系づけると通常環境の計画という規格では、このような整理ができますよ、というお話なんです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これで計画を作ります、ということではないので、その辺は誤解のないようにお願い致します。 ・今日は、そういうことで3つの角度から、宇都宮市の環境課題というものをマトリックスを使うとこういう形で集約できるのかな、ということで整理をさせて頂いたわけで、それ以上のものではありません。 ・協議事項2の方に、今後の会議についてこのような内容で考えています、ということが書いてありますが、これにつきましても、皆様のご意見によりまして、論議が不十分だからもう少しやってほしいということであれば、少しひっぱってもいいのかなと柔軟に考えております。
葛谷メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者の行動指針についてつくるのが今回のワーキングチームの1つの役割だと思います。但し、とても時間的に余裕がないし1～2回では足りないのではないのでしょうか。 ・今日の資料の中で、いくつか意見を出したいと思います。 ・資料4、P9、5)「水源地の保全」ですが、宇都宮市の水源地というのは、ほとんど市外ですから、宇都宮市だけで考えるのではなく、河内町や今市市とか宇都宮市の水源地を涵養している地域や自治体等との連携が必要だと思います。 ・P10、2)「生物多様性の確保・創造」と3)「水と緑の快適空間の創出」の内容は全く矛盾すると思います。釜川の二層河川構造は、自然性に配慮した良好な水辺空間とは思えません。 ・P11、5)「緑地・里山等の保全」の地域住民との連携についてですが、維持管理だけではなく、消滅しないための積極的な方法が必要だと思います。
葛谷メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・P14、4)「水源の保全」の中に「緊急時の対応も視野に入れた水源の開発・確保」とありますが、緊急時とは具体的に何を意味するのか教えてください。そのほか、雨水を資源として捉える必要があるのではないのでしょうか。雨水の利用を普及するということを積極的に考えて頂きたいと思います。 また、資料の中で、人口についてはある程度は増えるでしょうが、それ程増えるわけではなく、水道水の供給量も既にピークを過ぎています。新たな水源の確保という意味で書いてあるのだとしたらどうなのでしょう、ということです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急時」に関する表現については、第4次総合計画の中の「水資源の確保と合理的利用を図る」の課題の中に文言として書いてあります。これにつきましては、担当である水道局に再度確認してからご報告致します。
大野メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・2つ提案があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つは、こういったマトリックスにまとめるというのは、非常にわかりやすくて私自身は良い方法だと思います。これを使わせて頂きまして、「望ましい環境像」については、環境の取り組みの理念が反映されたもの、市民全員にとって親しみが湧くようなもの、そういったものが需要だと思いますので、広く市民から募集したらどうかと思います。これもひとつの環境教育、環境への意識を高めるひとつの方法ではないかと思います。 ・ 2点目は、月1回のディスカッションではまとめるのが難しいので、例えば、市民グループの方から賛意が得られるのであれば、この会合の合間に会合を開きまして、ある程度この中でもまとめていけたらと思います。そして、可能であれば、事務局には、ボードがある会議室を提供して頂き、また、オブザーバーとして参加して頂き、データや情報の提供などをして頂ければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「望ましい環境像」については、次回の会議の時に、メンバー皆さんに議論して頂き、素案として取りまとめることで宜しいかと思います。今後、素案については、パブリックコメントやシンポジウムを予定しており、その中で市民の幅広いご意見をお伺いできますので、まず、このメンバーの中で議論を頂くという方法を事務局としては提案していきたいと思います。 ・ 自主的な会議の集まりの件ですが、素案の作成の段階から市民の皆さん参加をお願いするのは初めての手法ということで、公募というかたちをとらせて頂きまして、皆さんで素案をつくって頂くということをお願いしたいということと、予定では、今回は環境配慮指針をご議論頂きますが、市民代表の方、事業者の方それぞれをお願いする部分が出てきますので、公募して参加して頂いた皆さんに作って頂くということを事務局では考えております。
斉藤メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から川口市や金沢市の環境基本計画を送って頂きましたが、このようなものを作るのかな、というイメージを持っているのですが、それで宜しいのでしょうか。 ・ また、資料では大きく4つの課題に整理されていますが、都市環境というのはどういう形で入るのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市環境というのは、具体的にはどういうイメージを持っていますか。
斉藤メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ いわゆる「大銀杏」や「ライトアップ」などの中心市街地のことです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言的にはP27のA3表の中に、「機能的で秩序あるまちづくり」というところと、下でいいますと、「緑化の推進」や「水と緑の快適空間の創出」というところに、まちづくりとか都市基盤なども入ってきます。
森本副リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の話に関連しますが、例えば、車が市街地に乗り入れないようなパーク・ア

	<p>ンド・ライドのように、車をどうするのかという問題や、まちづくりでも、何年も風化しないようなまちにするためには、煉瓦や石づくりがいいとか、そのような構想が私たちの中にはあるわけです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水利用についても地下水がしみこむような道をつくるとか、他では、車に乗らないようにと言っても、自転車にしても非常に自転車道が虐げられていて、白線の内にふき溜まっている砂地の上で、転びそうになっている実態があるわけです。そういうことに対するまちづくりも、環境にとっては必要になってくると思いますので、ぜひ計画の中で取り上げて頂きたいと思います。 ・他の都市の環境基本計画にしても、宇都宮市にしても、環境がこれだけ悪くなったということで、計画をつくるわけですよ。それはなぜかといったら、これは私たちが慢心した結果であって、安心して長生きできる都市づくりというのが基本になっていくと思います。 ・「安全な・・・」というところで、ダイオキシンの問題があるのですが、今ダイオキシンのほとんどが、ごみではなく、農薬なんです。それが土地を汚している訳ですし、宇都宮市の特徴としては、周辺が農地ですから空中散布がまだまだありますし、それは担い手がいないから等いろいろな理由はあると思いますが、それを考えていかないことには、子供たちも水も危ないわけです。ですから、安全な食べ物の確保という視点が欠けています。環境基本計画の中に、人間が生命を維持していくためのという大きな視点が抜けています。こういった視点で環境の範囲にいろいろ出てくると思います。
葛谷メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、「自転車や歩く」ということに関して、そうした方がいいと思っても、実際やっている人が少ないということになっています。それは、公共交通機関が整備されていないので、どうしてもマイカーになってしまい、現状では乗らざるを得ないような状況になっているからだと思います。 ・市街地の中で、良い環境をどうして作り出していくのかということになります。まちづくり（都市計画）が非常に大切だということです。 ・市民編、事業者編の行動指針をそれぞれ別に出している自治体もあります。 ・宇都宮市の計画の中で、こういった行動指針が1ページになるのか、ヴォリュームがあるものになるのか、かなり具体的なデータになるのか、そういったことも検討していく必要があると思います。
林メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・私は農業の立場で出ていますので、農薬の問題の話も出ていましたが、まず1番目としてモラルの問題があると思います。道路周辺の農地は、どこでも空き缶だらけです。 ・緑や水資源を守ろうと言っても、郊外の山に行くとタンクや自転車などごみの山です。鬼怒川の河川敷にごみが溜まっていれば、下流の人が迷惑します。まず、そういう環境からきれいにしていく必要があります。
林メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をやろうとすると、まず空き缶拾いから始まるわけです。瓶もありますか

<p>児玉メンバー</p>	<p>ら、けがをしてしまいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな観点で地球環境とか言っていますが、自分の家はきれいになっていて、外へ行ったら田園風景がいいといっても、用水路の堀の中をみると空き缶だらけです。宇都宮市の近郊はその通りだと思います。 ・1番身近にできる市民運動として、ごみのポイ捨て問題について取り上げて、そういう提案をしていければと思います。 ・農業環境に関しては、次回にでもお話できればと思います。 <p>・あと6回の会議で素案をつくるということですので、個別問題のフリーディスカッションをやろうとすると、延々と時間が過ぎてしまいます。例えば、資料4、P29でいえば、「大気環境の保全」などの呼び水をまず出して頂いた上で、最終的にはリーダーの方でこの問題に関してはこういうふうなことだ、とある程度まとめていかないと、無限の時間を費やしてしまいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のディスカッションと文書化してまとめる、というのをうまく時間配分してやっていけたらと思います。
<p>大野メンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題については、この資料はきちんとまとまっており、共通認識ができたと思っております。ですから、これを基にしまして、問題は如何に具体的な対策をとるか、推進していくかということがこのワーキングチームの役割だと思います。市民や事業者、農業関係の方など様々な方が集まっておりますから、その中で、具体的な対策については皆さん色々な意見をお持ちだと思います。 ・いずれにしても、宇都宮市らしい施策というのは、先駆的・画期的なものが出ればいいのですが、そうそうあるものではないとも思いますし、継続的、体系的にやっていくことがやはり宇都宮市らしいのではないかと、やるからには徹底的にいろいろな視点から入れたらと思います。それも、あれもこれもではなく、やはり重点的なものになっていくのしょうけれども。
<p>仁平メンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話が協議事項2に入っているんですが、私も今の話が重要だと思ってます。残り5回の中で、ここに書かれたマトリックスのように、きちんとはめ込んで整合性をとるとするのは多分われわれの中で整理するのは物量的にも絶対無理、限度があると思います。ですから、ここにあるように、後の5回をどんな風に考えていくか提案したいと思います。 ・次の第3回については、将来にわたって市民にわかりやすい環境づくりをしていくかということ、全員でどんどん議論を出し合っていければよいと思います。 ・第4、5回の時にどんな施策、どんな行動計画へ繋いでいくかということ、用意された資料ではなく、グループに分かれるか、もしくは一同でもいいんですが、例えば、この時刻ではなく、土曜日など時間的に余裕を持った中で、みんなで作業していくのがワーキングの本質だと思います。出された資料をチェ
<p>仁平メンバー</p>	

三宅リーダー	<p>ックするのではなく、逆に提案をして形づくっていくのを4, 5回でしていったら宜しいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だいぶ時間が過ぎていきますので、この辺りで整理をしたいと思います。 ・ 今日、大事な課題の論議だったんですが、十分時間がとれなかったと思います。説明が長く、資料が盛りだくさんであり、協議事項2の4回から7回までの進め方についても、今の時点でフィックスは難しいと思います。 ・ 私としては、次回は、今日の提案を受けて、全員でそれぞれに持っている課題に差があるとは思いますが、まず課題を出し合ってみるのはいかがでしょうか。 ・ 要は、この資料にある課題を否定する人はいないと思いますが、宇都宮市らしさがあるきらりとしたものにしたい、という話は多分課題の中に絞り込みはあるのだと思います。その導入として、次回は、課題をフリーに出し合ってみる。收拾がつかなくなるかもしれませんが、そしたらその次は分科会方式でということもあるかもしれません。 ・ 協議事項2は、十分意をつくしていないと思いますので、今日は留保させて頂き、次回は、それぞれの問題意識をぶつけあう、ということかも知れません。私の提案です。
森本副リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題提起ですか。課題はたくさんあると思いますが。
三宅リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、強引に我々が論議するのを3番目と5番目にしましょうとは言えないと思います。一旦そういうのを経て、この分野については、大事そうだからもう少し突っ込んでやるということはあるかもしれませんが、頭から最初の15分で第1項、第2項とやっていってもあまり意味がなく、上滑りになってしまいます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先程は、別にこのスケジュールにはこだわらないという旨のお話をしました。 ・ しかし、そうはいつでも、無制限に延ばしてもよいのかということではなく、遅くとも年内には策定したいと考えております。
林メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ きりがなくなるので、回数は守って頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日、環境基本計画を進めていくにあたっての課題、いわば骨組みはどんなものなのかというお話をしているのであり、これについては、異論はあまりないのではないかと思います。今、皆さんがおっしゃっているのは、それではどういう対策をやっていくのか、ということであり、これについては、次回以降からやっていきたいと思いますということでお話しています。 ・ ですから、特に資料の中で、この課題については宇都宮市として取り上げなくてもよいのではないかと、あるいは、もっとこういう課題を取り上げて欲しい、ということがあれば別ですけれども、そうでなければ、一応課題については、
事務局	

<p>三宅リーダー</p>	<p>こういふことだ共通理解がなされた、ということだと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回以降は、この課題に対する施策なり市民や事業者の行動なりをやっていってもらうのがいいのかなと、そういう具体的な論議を次回以降からやっていって頂きたい、ということだ考えています。 ・それはいいと思ひます。但し、あまり一気に絞込まないで、次回はもう少しフリーに、課題の話と施策はセットになってくると思ひますので。 ・ワーキングチームとしては、問題意識のいくつかの山が見えてくると思ひますので、そういうことを大事にしながら肉付けをしていくということだ宜しいでしょうか。なかなか大変だなあ、とは思っています。 ・それでは、2番目の議題は今日はフィックスしてありませんが、そういう方向でやっていく、ということだまとめさせていただきます。 ・年内までに策定したいという話は、もちろん理解しています。 ・だいぶ時間をオーバーしてしまいましたが、次回は、皆さんの意見を聞く時間を大事にすることで宜しいでしょうか。 ・どうもありがとうございました。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に、先程の斉藤さんの質問についてですが、川口市や金沢市、鹿児島市の環境基本計画を送らせて頂きましたが、イメージとしてはあのようなスタイルのものをやっていきたい、というのが事務局としての考えです。